

# ふくしま連携復興センター 事業概要（2020版）



一般社団法人ふくしま連携復興センター

## 役員会

理事 4 名  
監事 1 名

## 事務局

事務局長

事務局次長  
(支援者連携チームリーダー兼務)

経営管理チーム  
2 名

## 事業部門

### 支援者連携チーム

【人員】6 名 (欠員 2 名)

【事業】被災者支援コーディネート事業

・事業概要：被災者の安定的な生活を目指し、被災者や地域の現状課題の収集および整理、社会資源とのマッチングを行う。また、併せて情報収集や連携による課題解決を効率的、効果的に行うための意見交換会等の仕組みづくり、や事例の地域展開を行う。

### 広域避難者支援チーム

【人員】8 名 (欠員 1 名)

【事業】福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業

・事業概要：福島県から県外に避難する被災者の生活再建拠点を全国26か所に設置し、相談受付や交流会の実施、県の施策の説明会開催などを行う。また、ふくしま連復内にも「ふくしまの今とつながる相談室toiro」を設置し、主に電話による相談受付を行う。

### 復興創生チーム

【人員】5 名

【事業】福島県復興支援専門員設置業務委託事業

・事業概要：福島県内に復興支援専門員を配置し、県内で活動する復興支援員や地域おこし協力隊の活動支援を行う。内容は主に、復興支援員や地域おこし協力隊の人材確保支援や活動の広報、研修会の開催等である。

※その他、以下の事業等を実施している。

①ふくしま未来基金(公益財団法人パブリックリソース財団委託事業。)：福島の地域づくり、まちづくりを目指すNPO等向けの助成プログラム実施に当たっての事務局業務およびモニタリングの実施。

②福島県の「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の助成を受けて「福島県の市民団体による復興支援活動アーカイブ事業」を実施。

# ふくしま連携復興センターとは



## 【設立】

東日本大震災の発生した2011年の7月20日に設立（12月に法人化）

## 【設立の目的】

復興の担い手同士の事業連携や協働の推進、ネットワークづくりや情報発信を行う「中間支援」機能の必要性に対応するために設立された

## 【ビジョン】（ふくしま連携復興センターが、活動を通じて目指す社会）

「ふくしま連携復興センターは、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故が投げかけた課題を教訓として、その課題解決に取り組む多様な主体が「新たな価値」を創造し続けていく、尊厳ある社会・ふくしまを目指します。」

## 【ミッション】（ビジョンの実現に向けたふくしま連携復興センターの使命）

ふくしま連携復興センターは、が、ふくしまの抱える課題の解決に取り組む民間非営利組織等が連携・協働を通じて地域の中で主体的な役割を發揮できるよう、その活動を支え続けます。

# ふくしま連携復興センターの取組①



## 復興の担い手を支援する取組

ふくしまで  
暮らしの足を考える  
ロールプレイングで学ぶ移動支援～

2019年10月21日(月) 13:30～16:30  
会場:富岡町文化交流センター 学びの森 第1会議室

入場無料  
定員100名

現代社会では、一家に一台・一人一台といった車社会が当たり前となり、車がなければ自由な移動が出来ない地域も多く存在しています。また近年は運転免許返納を促す動きも強まり、益々自由な外出が難しくなることが予想されています。“自由な暮らしの足”とは何なのか、今私たちが出来ることは何なのかについてロールプレイングを交えて学んでみませんか？

**第1部 基調講演**  
13:35～  
吉田 樹氏  
(福島大学 経済経営学類 准教授)  
(東北運輸局「地域公共交通東北圏人」メンバー)  
吉田先生より、浜通り地域を中心に移動支援が必要な背景や法制度、今後予想される移動制約者対象の在り方、運転免許返納後の自由な暮らしの足確保に必要なコスト等について、移動支援の実態や事例を交えながらご講演頂きます。

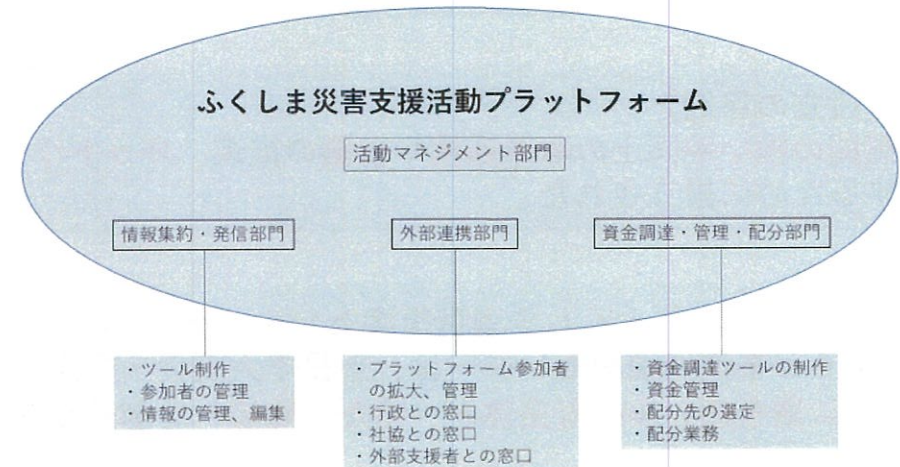
**第2部 ロールプレイング(グループワーク)**  
14:30～  
ロールプレイングでは、今ある様々な移動手段を使い、目的地に送り届けるためのシミュレーションを行います。今回は、浜通り地域をモデルにシミュレーションを行い、今ある公共交通機関の把握と「あったらいいな」と思う移動支援について意見交換を行います。

**お申込み方法**  
参加希望の方は10/15(火)までに左記QRコードよりお申込みください。また、FAX・Eメールからでもお申込みいただけます。お名前とご連絡先(電話番号等・Eメールアドレス)を下記までお伝えください。

主催:一般社団法人ふくしま連携復興センター / 後援:福島県  
【問い合わせ先】  
一般社団法人ふくしま連携復興センター(福島県福島市津田町1-7大河原に\*2階)・TEL:024-573-2732 / FAX:024-573-2733  
E-Mail:info@f-renpuku.org(担当:友藤希穂様チーム)

※本事業は「令和元年復興円滑化支援コーディネート事業」の一環で開催します。

行政、NPO、福祉機関などがコミュニティ形成のアイデアを学ぶ合うワークショップ



台風19号の被害に対し、民間による活動の共有や行政との連携を進めるプラットフォームの運営

# ふくしま連携復興センターの取組②



## 県外避難者を支援する取組

—県外避難されているみなさまへ—

**coconimo 福島**

【保存版】  
全国の相談窓口のご案内

ふくしまの今とつながる  
相談室 toiro

発行元 一般社団法人ふくしま連携復興センター  
〒960-0002 福島県福島市東町1-1-1 大町ビル2F  
TEL 024-573-2731 FAX 024-573-2732 URL <http://fukushima.or.jp/>

全国の生活再建支援拠点(相談窓口) 一覧

<p>4-01 東京都福祉センター</p> <p>東京都福祉センター 東京都福祉センター本部 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL 03-3568-1111 FAX 03-3568-1112 www.fukushima.or.jp</p>	<p>4-02 東京都福祉センター</p> <p>東京都福祉センター 東京都福祉センター本部 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL 03-3568-1111 FAX 03-3568-1112 www.fukushima.or.jp</p>	<p>4-03 東京都福祉センター</p> <p>東京都福祉センター 東京都福祉センター本部 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL 03-3568-1111 FAX 03-3568-1112 www.fukushima.or.jp</p>
--	--	--

全国からご利用できる  
相談窓口です!

☎024-573-2731

お電話ください

toiro

福島の情報をお届けします

避難者の相談会で toiro のスタッフの方に相談に乗っていただきたいのですが...

避難者交流会へ 福島の現状に詳しい方を呼びたいのですが...

福島に戻ろうと 考えているのですが、 住宅の相談ができる ところがありますか?

福島に戻ることが 検討していますが、 福島で仕事が 見つかるか不安です。

福島に戻る予定です。 保育所の空き状況 が知りたいわ。

避難先に定住しようと 考えています。 近くに相談できる窓口が あれば教えてください。

避難先で利用できる 支援サービスがあれば 教えてください。

避難先で、 日常生活の相談に 乗ってくれるところは ありますか?

福島県からの県外避難者を避難先で支援する  
26か所の「生活再建支援拠点」を設置・運営

避難者や支援者からの相談受付窓口  
「ふくしまの今とつながる相談室toiro」の運営

## ふくしま連携復興センターの取組③



### 地域おこしの担い手や県外からの移住者を支援する取組



地域おこし協力隊や復興支援員の募集説明会を年に2回、東京都内で実施。福島県で活躍する人材の掘り起こしを行い、応募者が希望する市町村につなげる。



新規着任隊員研修・市町村職員研修・定着支援研修  
・スキルアップ研修・活動報告交流会など、  
年7回程度実施。